

第3 県債及び一時借入金の状況

県債は、県が建設事業や災害復旧事業を行うなど一時に多額の資金を必要とする場合、この財源として総務大臣の同意を得て国等から長期に借入れる資金であり、後年度に一定の償還計画に基づき返還していくものです。平成21年度末における県債の現在高は、第16表のとおり1兆1,153億358万5千円で、前年度に比べ、915億2,923万円、8.9%増加しています。なお、県債依存度と県債年度末現在高の推移及び県民1人あたりの県債現在高は、第18図及び資料17に示したとおりです。

また、一時借入金は、予算執行にあたって歳計現金の資金繰りに不足を生じた場合、一時的に予算に定められた範囲内で市中銀行から借り入れるものです。平成21年度におきましては、資金繰りの必要から最大445億円の借入れを行いました。全額償還しています。

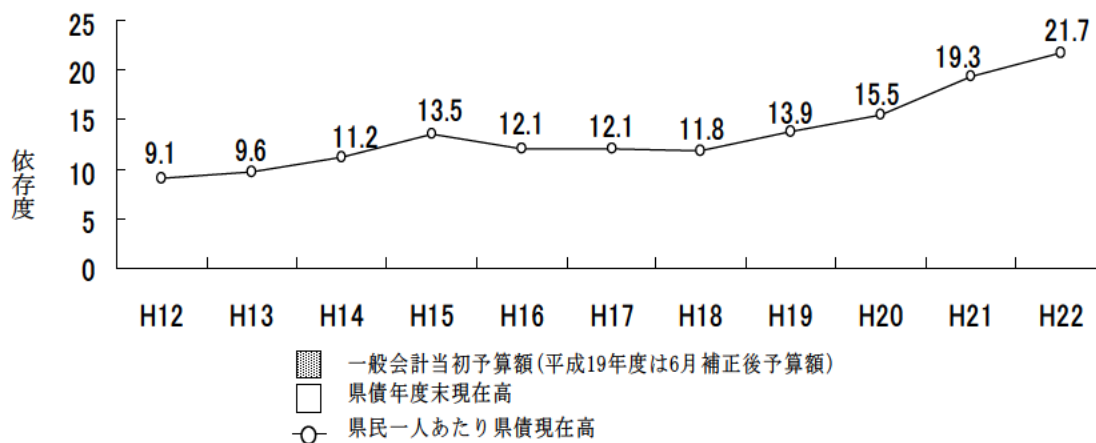
第16表 平成21年度末における県債の現在高（一般会計、事業別）

（単位：千円）

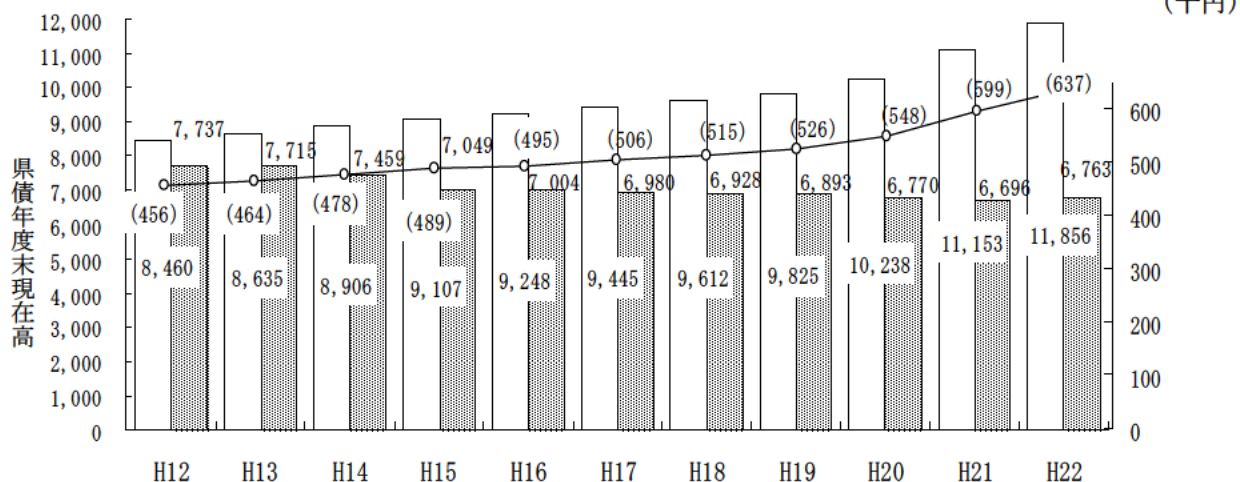
	現在高（見込高）
一般公共事業債	391,226,165
一般単独事業債	284,493,200
公営住宅建設事業債	3,581,730
災害復旧事業債	10,828,750
首都圏等整備事業債	6,753,842
厚生福祉施設事業債	1,925,373
教育・福祉施設等整備事業債	13,436,971
退職手当債	28,924,000
臨時財政対策債	224,647,404
減税補てん・減収補てん債	75,991,797
その他	73,494,353
合 計	1,115,303,585

第18図 県債依存度と県債年度末現在高の推移（一般会計）

(%) 県債依存度（当初予算（平成19年度は6月補正後））



(億円)



(注) 借換債を除いた実質ベースで示してあります。

(注) 年度末残高及び県民一人あたりの県債現在高の平成20年度以前の数値は決算額、平成21、22年度は見込額を基準にして計算してあります。